

第12回三番瀬評価委員会の開催結果（概要）

- 1 開催日時 平成21年7月22日（水）午後6時25分から8時50分
- 2 場 所 千葉県国際総合水泳場会議室
- 3 出席者 委員6名
（細川座長、蓮尾副座長、野村委員、望月委員、岡安委員、横山委員）
- 4 参加人数 17名
- 5 配布資料
資料1-1 第11回三番瀬評価委員会の結果について
資料1-2 第27回三番瀬再生会議からの指示事項について
資料2-1 平成20年度三番瀬水環境モニタリング調査業務報告書（概要版）
資料2-2 平成20年度三番瀬深淺測量調査業務報告書（概要版）
資料3-1 三番瀬の総合解析進行予定（事務局案）
資料3-2 総合解析に係る調査の状況について
資料4-1 三番瀬の水の流れに係る勉強会の結果報告
資料4-2 三番瀬に於ける数値モデルの策定について

6 結果概要

（1）あいさつ

県総合企画部森理事からあいさつがあった。

（2）開催結果の確認委員

細川座長からの指名により、野村委員、横山委員が会議開催結果の確認を行うこととなった。

議題1 第11回三番瀬評価委員会の結果及び第27回三番瀬再生会議からの指示事項について

細川座長から、資料1-1により、第11回三番瀬評価委員会の開催結果について説明があった。

事務局から、資料1-2により、第27回三番瀬再生会議からの指示事項について説明があった。

議題2 平成20年度「三番瀬自然環境調査事業」の結果について

事務局から平成20年度三番瀬モニタリング調査報告書概要版（資料2-1）及び平成20年度三番瀬深淺測量調査業務報告書概要版（資料2-2）について説明があり、質疑応答がなされた。

【主な質疑・意見等】

平成20年度三番瀬モニタリング調査報告書について

野村委員 クロロフィルがものすごく上がっているのに濁度が上がっていな

い部分というのが結構あるので、理由を調べてほしい。

望月委員 調査結果を理解する上で、可動堰開放時の水量、青潮の発生経過等の基本的な情報を、聞き取りその他を含めてわかる範囲で収集したうえで、解析してほしい。

観測データと関連して解析に必要な背景情報をコンサルタントと県事務局の両方で協力して進めていただきたい。

平成20年度三番瀬深浅測量調査報告書について

岡安委員 三番瀬海域の土量の収支を見るのに、平成14年から20年の間に航路浚渫でどれくらい土砂量を取り除いたかを把握してほしい。

横山委員 土量の計算は大体でいいですから、砂の領域と泥の領域と分けて計算するといいと思う。

野村委員 猫実川あたりは、カキ礁の発達等があるかもしれないので、地形変化と流れの関連についてバックグラウンドのコメントを入れたほうがいいと思う。

望月委員 地形変化を考察するときに、航路を掘り下げたという減った分と日の出沖の深掘り部に砂を入れているはずなので、そうした増えた分もある。平成14年の深浅測量結果以外の図面も並べて検討すべき。

可動堰開放時に流入する土砂との関係を考慮する必要があるが、方法がまだわからない。

景観写真として海と海岸を写しているが、今後の調査の時は、海から陸を干潮時に撮影すべき。

会場意見 猫実川河口域について、項目を立てて評価をしてほしい。

細川座長まとめ

上記二つの調査をベースとして、三番瀬の水の流れ、地形の変化あるいは評価を行うこととします。

本日、幾つか作業メニューが出たので、評価については、この作業結果をふまえ、評価委員会の中から希望者を募って、調査データを見る作業部会を開いて協議したいと思います。

議題3 三番瀬自然環境総合解析に係る作業について

事務局から三番瀬の総合解析進行予定(事務局案)(資料3-1)及び総合解析に係る調査の状況について(資料3-2)について説明があり、意見交換がなされた。

また、細川座長から7月13日に行われた、「三番瀬の水の流れに係る勉強会」の結果について三番瀬の水の流れに係る勉強会の結果報告(資料4-1)及び三番瀬における数値モデルの策定について(資料4-2)により、報告があった。

蓮尾委員 江戸川放水路の、特に底生動物についての資料の収集、行徳湿地に関する資料を取りまとめて総合解析に加えること、及び、日本野鳥の会東京支部が実施している、鳥類計測結果を入手して資料に加えること、の3点を希望する。

望月委員 平成8,9年度及び15年度の総合解析に、主体的に関わった中で思

ったのは、三番瀬がかなり変わってきており、また、15年度以後の5年間の調査データでも、三番瀬自身が非常に変わってきているという実感がある。

それをデータ上で示すには、いろいろなデータを突き合わせて関係を分析し、その結果を見てまた違う分析をするみたいなことを連鎖的に続けていくしかなく、過去の全てのデータを集めて、経時的な変化や年変動等も含めて傾向的な変化の有無を見つけ出す必要があり、誰か専門家がつく必要がある。

この作業は、研究手法と同じであるので、通常の仕様書による事業委託では無理だと思う。

横山委員 国でやっているようなプロポーザル方式で高度な技術者から提案をうけ、その提案内容で採用する方法であれば、ある程度こちらの希望が取り入れられる可能性があるが、従来型の一般競争だと不可能なのではないか。

そのような発注の方法について、千葉県も検討すべき。

細川座長 第13回評価委員会までに、県から発注方式の新たなやり方を提案してもらいたい。

会場意見 三番瀬の海域、特に猫実川河口においてアナジャコやカキ等の浄化機能を明らかにしてほしい。

会場意見 水産部の青潮の予測モデルのデータを資料と出来るかチェックすべき。

水の流れのモデル作成において、底面摩擦速度と底生生物の関係について検討してほしい。

細川座長まとめ

三番瀬再生会議から総合解析のやり方について、県知事に提案をできれば、県庁内部の議論はしやすいと思うので、9月2日の再生会議に評価委員会から報告することをしたい。

深浅測量と流れについて深く解析をする、あるいは三番瀬全体への影響を解析するため、希望委員による作業部会を8月下旬に設け、その後、9月2日に予定されている三番瀬再生会議の前に第13回評価委員会が開く方向で日程を調整する。

第13回評価委員会では、作業部会報告とあわせて総合解析での留意点、22年度に必要な予算、総合解析の方向や方針について、今時点での取りまとめをおこなう。

議題4 その他

該当する報告なし。

7 閉会